

主題や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校第6学年 （光村図書 版）

【主題名】 本当の友達とは？ ～共生～ （4時間扱い）

使用教材：「コスモスの花」「みんな、おかしいよ」「どうすればいいの」「ロレンゾの友達」

【養う道徳性 ※関連する内容項目等】

- ・ 真の友情とは、互いに磨き合い、高め合う友達関係であり、相手の立場に立って考えながら互いの人格の尊重を基盤としており、そのような人間関係を築いていこうとする道徳的態度を養う。
- ・ B 友情, 信頼 B 相互理解, 寛容

【主な学習活動と留意点】

児童生徒の実態 ※肯定的な面やそれを更に伸ばしていこうとする観点からの積極的な捉え方

趣味や傾向を同じくする閉鎖的な仲間集団を作る傾向が出てきており、そうでないものを遠ざけようとするところがある。

働かせる見方・考え方

様々な事象を道徳的諸価値をもとに自己との関わりで広い視野から多面的・多角的に捉え、自己の人間としての生き方について考えること。

	学習活動	配慮点（各教科等、体験活動等との関連）
問題意識を共有す 自分自身との関わりで、 多面的・多角的に考え合う 生き方を考え深め合う	1 教材名「コスモスの花」 B 友情, 信頼 （6月）(1) 中心的な発問 『やめろよ』とぼくに思わず声を出させたものは何か？ 板書の工夫 話し合いの工夫 主題「本当の友達ってなんだろう？」の設定	悩みや葛藤等心の揺れのある教材と出会うことで、友達との向き合い方に迫る主題を設定する。 学校行事 (3) 健康安全・体育的行事 …運動会
	2 教材名「みんな、おかしいよ」 B 相互理解, 寛容 （7月）(1) 中心的な発問 「ユリに対して『ごめんね』と真紀に言わせたいものは何か？ 役割演技の工夫 発問の工夫	生活経験に近い教材から、「何が問題なのか」自分自身との関わりで考える。 学校行事 (4) 遠足・集団宿泊的行事…遠足
	3 教材名「どうすればいいの」 B 相互理解, 寛容 （10月）(1) 中心的な発問 「私は由希にどんな声をかけたらいいでしょうか？ 役割演技の工夫 話し合いの工夫	「自分だったらどうするのか」友と話し合うことで多面的・多角的に考える。 学校行事 (4) 遠足・集団宿泊的行事 …修学旅行
	4 教材名「ロレンゾの友達」 B 友情, 信頼 （11月）(1) 中心的な発問 「もしロレンゾが本当の罪をおかして帰ってきたとしたら、自分は友人としてどうすべきだったのだろうか？ 板書の工夫 話し合いの工夫 主題「本当の友達ってなんだろう？」を自己評価	人間尊重の精神にかなう教材と出会うことで、主題を今後も考え続けられるようにする。 学級活動 (2) イよりよい人間関係の形成

次学年へのつながり（児童生徒に願う姿）

いじめがどうしていけないことなのかを理解し、いじめを許さないでいじめに向かっていこうとする心の強さをもつ。